

Kommt
ans



Bauhaus!

Come to Bauhaus
The Basis of Education in Art and Design
100th Anniversary of the Founding of Bauhaus

きたれ、バウハウス 造形教育の基礎 開校100年
2020.2.8(土) 3.22(日) 高松市美術館

◎休館日：月曜日(2月24日(月・休)開館、2月25日(火)休館)◎開館時間：9:30~19:00(但し日曜日は17:00開館/初日2月8日(土)のみ展示室入場は10:15から/入場は開館30分前まで)◎主催：高松市美術館、バウハウス100周年委員会◎後援：ドイツ連邦共和国総領事館、スイス大使館、ハンガリー大使館、一般社団法人日本建築学会◎特別協力：ミサワホーム株式会社、東京国立近代美術館◎協力：森沢デザイン研究所、大阪芸術大学、株式会社アトリエニキティキ、香川大学創造工学部、香川県立高松工業高校デザイン科◎企画協力：株式会社アートインフレーション、株式会社ミサワホーム総合研究所

Takamatsu Art Museum

ドイツと日本
Zukunft gestalten
ともに未来へ

Schweizerische Eidgenossenschaft
Confédération suisse
Confederazione Svizzera
Confederaziun svizra
Embassy of Switzerland in Japan
スイス大使館

EMBAASSY OF HUNGARY
TOKYO



interoffice

A1J

bauhaus
100 japan

TAKAMATSU ART MUSEUM
高松市美術館



《紙による素材演習》
作者不詳 1919年(再制作)
ミサワホーム株式会社蔵

1919年、ドイツの古都ヴァイマルに、建築家ヴァルター・グロピウスにより造形学校「バウハウス」が開校され、昨年、その誕生から100年目を迎えました。ナチスの弾圧を受け1933年に閉鎖されるまで、わずか14年という短い活動期間でしたが、実験精神に満ちあふれたこの学校は、造形教育に革新をもたらし、今日にいたるまでアートとデザインに大きな影響を及ぼしています。バウハウスでは、ヴァシリー・カンディンスキー、パウル・クレーなど時代を代表する芸術家たちが教師として指導にあたって、優れたデザイナーや建築家が育ち、画期的なデザインが生まれました。とりわけ入学した学生が

も、皆さんも歴史に燃然と輝く
**バウハウスに
体験入学!**

最初に受ける基礎教育で教師たちが試みた授業はユニークなものでした。本展覧会では、バウハウスの基礎教育を中心に各教師の授業内容を紹介するとともに、その一端を体験していただけます。さらに、そこから発展した様々な工房(金属、陶器、織物、家具、印刷・広告、舞台など)での成果や資料など約300点を展示。また、実際にバウハウスに入学した日本人留学生・水谷武彦、山脇巖、山脇道子、大野玉枝、4名の活動を一堂に紹介する初めての機会となります。



見る。触れる。体験コーナー

触覚版

モホイ＝ナジの授業では「様々な素材を集めて触覚の変化を体験できるもの」を制作する課題が出された。

回転混色

学生ながら色彩ゼミナールを主宰したヒルジエフェルト＝マックの「混色独楽」。色分けされたプレートにコマに取り付けて回し、混色の実験を行う。(白1/2、黒1/2のプレートでは、白の持つ周囲に拡散する効果によって、非常に明るいグレイを生む。白1/8、黒7/8は中間的なグレイを生む。)

光の彫刻

彫刻工房で行われた実験。斜めの棒と輪を取り付けた装置が回転することによって実在しない物体が浮かび上がる。これは私たちの眼の中にのみ存在するものだが、それを写真に撮ることで固定される。

色の影

光線の色とそれにより生じる影の色の関係はどうなのだろうか。赤の光線の影は? 緑の光線の影は? 黄色の光線の影は?

マッチ棒による造形

ヴァリエーションと組み合わせの練習。思考の幅を広げるのに役立つ。ヨハネス・イッテンは「マッチ棒4本でさえ教材になりうる」(『造形芸術の基礎』)と語った。

組み合わせ文字

ヨゼフ・アルバースによる新しい書体のデザイン。円、正方形、1/4円の3つの要素の組み合わせでアルファベット、数字、記号を表現できる。

Kommt
ans
Bauhaus!



マルセル・ブローヤール(クラフ・ファームチェアB3ヴァシリー)
1925年(デザイン)、1926年(製造) ミサワホーム株式会社蔵



ヨースト・シュミット 《1923年の「バウハウス展」のポスター》
1923年 ミサワホーム株式会社蔵
*オリジナル展示は2月24日まで



フリッツ・シュライバー
《学生たち(アドリエのバルコニー) バウハウス・デッサウにて》
1932年頃 ミサワホーム株式会社蔵

【記念講演会 1】

2月8日(土) 13:30~15:00(13:00開場)

「バウハウスの授業と学生生活」

◎講師: 杉田佳穂氏(ミサワバウハウスコレクション学芸員、本展覧会監修者)

◎場所: 1階講堂 ◎定員: 先着100名 ◎料金: 無料

【記念講演会 2】

3月7日(土) 13:30~15:00(13:00開場)

「高松から始まる戦後モダニズム
ー建築家・山口文象と旧高松市立美術館」

◎講師: 梅宮弘光氏(神戸大学大学院人間発達環境学系研究科教授)

◎場所: 1階講堂 ◎定員: 先着100名 ◎料金: 無料

【再現授業】

2月29日(土) 14:00~15:30(13:30開場)

「ヨハネス・イッテンのデッサン」

◎講師: 岡本康明氏(元・京都造形芸術大学芸術館館長、教授)

◎語り・音楽構成: 下地由希子(フレアデス主宰)

◎場所: 1階講堂 ◎定員: 先着60名(小学生以上) ◎料金: 無料

◎要電話予約: 1月15日(水) 8:30~(定員に達しない場合当日参加可)

◎内容: 呼吸法や体操を取り入れたユニークなイッテンのデッサンの授業を再現し、体験いただきます。

【ワークショップ】

2月22日(土) 10:00~12:00

「バウハウスであそぼう!」

◎講師: 山端篤史氏(造形作家) ◎場所: 中2階ロビー

◎定員: 先着15名(小学生以上) ◎受講料: 500円

◎要電話予約: 1月15日(水) 8:30~

◎内容: バウハウスの授業で出された課題をもとに、造形的な遊びをお楽しみいただきます。

【エントランス・ミニコンサート】

3月15日(日) 13:30~14:00

◎奏者: 波多翼氏(ピアノ) ◎場所: 1階エントランスホール

◎申込: 予約不要 ◎料金: 無料

【ギャラリートーク(展示解説)】

学芸員: 2月15日(土) 14:00

ボランティア: 会期中の日曜日・祝日 14:00

◎場所: いずれも2階展示室 ◎料金: 要観覧券

入場料: 一般1,000円(800円)、
大学生500円(400円)、高校生以下無料

※()内は前売及び20名以上の団体料金 ※前売チケットは高松市美術館1階受付、高松市役所生協、ゆめタウン高松サービスカウンター、宮脇書店本店及び南本店にて2月7日(金)まで販売 ※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は無料

交通のご案内

- JR: 高松駅下車、徒歩約15分
- ことてん: 瓦町駅または片原町駅下車、徒歩約10分
- 路線バス: 紺屋町または丸亀町多番街下車、徒歩約2分
- 高速バス: 県庁通り下車、徒歩約8分
- 空港リムジンバス: 兵庫町下車、徒歩約4分
- 駐車場: 美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容) 〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel: 087-823-1711



高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

◎ @takamatsu_art_museum f @takamatsuartmuseum

www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/

* 関連イベントのお問合せ・お申込みは高松市美術館(電話087-823-1711)まで

* 詳細は決まり次第チラシ、ホームページ等でお知らせします。